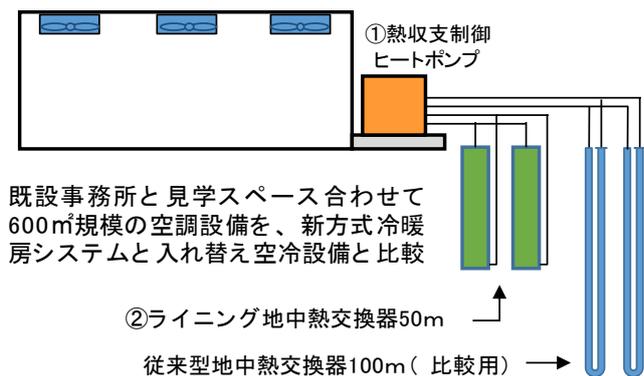


## (株) ホクコン、(株) エコ・プランナーが産学官で実施する 地中熱を利用する低コスト冷暖房システムの事業化に向けた実証試験が、 NEDOの新エネルギー技術革新実用化支援対象に採択

このたび、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募する平成30年度「ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業」〈フェーズD：大規模実証研究開発〉に、(株) ホクコン（福井市）、(株) エコ・プランナー（福井市）、福井大学等が産学官連携で行う、「熱収支制御ヒートポンプ」と「ライニング地中熱交換器」を組み合わせ、新方式冷暖房システム開発に関する研究が採択されました。

### 【開発テーマ】：熱収支制御搭載水冷ヒートポンプの開発と高効率低コスト実証

#### ＜ ③実証実験イメージ ＞



今回のフェーズDでは、平成29年度の実用化研究開発（フェーズC）で開発した熱収支制御機構をブラッシュアップ、ユニット化して、新発想の水冷式の「①熱収支制御ヒートポンプ」を開発します。これに平成28年度の基礎研究（フェーズB）で開発した「②ライニング地中熱交換器」を組み合わせ、システム全体の熱効率を上げることで装置をコンパクト化した新方式冷暖房システムを開発し、既存の建物にて「③実証実験」を行います。

具体的には、パナソニック エコテクノロジーセンター（株）（兵庫県）の事務所と見学室、合わせて約600㎡の二階フロアに新方式冷暖房システムを設置し、使用される電力量を、既存の空冷式エアコンと比較。従来の地中熱冷暖房装置と比べ、設置コストを半減し、温暖な地域においても、空冷式エアコンとの設置コスト差額を、電力料金により10年以内で回収できる事を実証します。

## 【実用化体制】

当該実用化開発の成果は、「みち環境技術協会」(地中熱施工業者やゼネコンを含む福井県内を中心とした11社で構成)で事業化を予定しており、最終ユーザーであるビルオーナーや行政機関への採用を見込んでいます。

福井県や(公財)ふくい産業支援センターでは、ふくいオープンイノベーション推進機構の連携活動の一環として、この開発や販路開拓を継続的に支援していきます。

